

G

PAT-NO: JP357120172A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57120172 A
TITLE: PARI-MUTUEL TICKET ISSUING MACHINE
PUBN-DATE: July 27, 1982

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
KOBAYASHI, KANEYOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME SHINDENGEN ELECTRIC MPG CO LTD COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP56003905
APPL-DATE: January 16, 1981

INT-CL (IPC): G06F015/28, G07C013/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate a complicated operation for the quick issuing the pari-mutuel tickets and to avoid the malfunction of operation, by automatically issuing both the pari-mutuel tickets of the upper limit amount and the pari-mutuel tickets of a fraction amount in the number of sheets filling the amount of the pari-mutuel through an operation for issuing of the tickets.

CONSTITUTION: An amount of pari-mutuel is first stored in a pari-mutuel setting register 11, and an arithmetic part 13 subtracts the contents which is previously stored in an upper limit amount setting register 12 from the contents of the register 11. The value obtained through the subtraction is stored in a subtraction result storing register 14 and then shifted to the register 11. At the same time, the contents of the register 12 is shifted to a setting register 15 for the amount written on the surface of the ticket. A print control part 8 refers to the contents of the register 15 to control both a print part 9 and a paper feed motor 10, and then prints the pari-mutuel ticket. The above-mentioned actions are repeated to repetitively print the pari-mutuel ticket containing the upper limit amount on the surface.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—120172

① Int. Cl.³
G 06 F 15/28
G 07 C 13/00

識別記号 庁内整理番号
7165—5B
8109—3E

③ 公開 昭和57年(1982)7月27日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

④ 投票券発売機

株式会社工場内

① 特 願 昭56—3905

① 出 願 人 新電元工業株式会社

② 出 願 昭56(1981)1月16日

東京都千代田区大手町2丁目2番1号

③ 発 明 者 小林金好

③ 代 理 人 弁理士 大塚学 外1名

飯能市南町10番13号新電元工業

明 細 書

1. 発明の名称 投票券発売機

2. 特許請求の範囲

投票金額設定用の操作卓と、印刷制御部と印刷部とよりなる印刷機および発券制御部とを備え、その発券制御部は設定投票金額から予め設定された上限金額の減算操作をその減算結果が“0”または負となるまで繰返し行う演算部を有し、その減算の繰返し毎に上限金額の投票券を印刷し、また減算結果が負となったときには減算結果の金額を上記上限金額投票券に懸く用紙上に印刷させるように上記印刷部を制御して、1回の操作により投票金額に見合う上限金額または上限金額とそれ以下の端数金額の投票券を連続的に発券するようにしたことを特徴とする投票券発売機。

3. 発明の詳細な説明

本発明は1回の発券操作により投票金額を満す

枚数の上限金額投票券と端数金額投票券とを連続的に発券できる投票券発売機に関するものである。

公営競技における投票券の発売機として例えば第1図に示すブロック系統図の如きものが用いられている。この発売機は投票、投票金額などの所要事項を打込む操作卓①と、これによって生じた情報信号を記憶部②に格納させ、またこれらの操作が終了したのち印刷開始信号を印刷制御部③に送って、これにより記憶部②から読出された印刷情報参照しながら、電子的印刷制御部④は放電破膜式印刷部⑤を制御して、その放電極板により用紙送り用モータ⑥を用いて送り出される用紙に印刷させる制御部⑦などよりなるものである。しかし公営競技において発券できる投票券の票面金額は法令によって上限が定められており、例えばこれを1万円としている。従って例えば投票者が3万5千円の投票を行おうとした場合、発券操作者は操作卓の操作により1万円^⑧の発券を行ったのち、再び同一操作により1万円券を発券し、次に更に操作卓への5千円の打込みによる5千円券の発券

を行う回の操作が必要となる。このため投票金額が多額となればなるほど操作回数が多くなるので、発売に手数料がかかって時間を要するばかりか、操作誤りによる投票券の枚数不足や端数金額投票券の印刷金額の誤りなどを生ずるおそれが大きい欠点がある。

本発明は1回の発売操作により自動的に投票金額を所定枚数の上限金額投票券と端数金額投票券とを発券できる発売機を提供して、上記した発売操作の煩雑さなど、従来の発売機の欠点を一挙に排除したものである。次に図面を用いてその詳細を説明する。

本発明の特徴とするところは、投票券発売機に操作卓に打込まれた投票金額からの上限金額の計算を繰返し行い、その結果が“0”または負となるまでの繰返し回数だけ印刷機に上限金額の印刷を行わせる要求信号を送出し、また負となったときにはその端数金額の印刷を行わせる要求信号を送出す発券制御部を設けた点にある。即ち上限金額を1万円とし、投票金額が8万円のときには結

算結果が“0”となるまでの回数8回だけ上限金額の印刷要求信号を送出して、第2図(a)に示すように1万円の投票券 A_1, A_2, A_3 を連続的に発券させる。また8万5千円のときには、計算結果が負となったことを検出して、それまで繰返して印刷機に考えられていた上限金額の要求信号に代えて、端数金額5千円の要求信号を送ることにより、第2図(b)に示すように上限金額の8枚の投票券 A_1, A_2, A_3 に連続して券面金額が5千円の端数金額投票券Bが得られるようにして、1回の操作で上限金額1万円の制限を満足させながら投票金額に見合う投票券を発券できるようにしたことを特徴とするものである。

第3図は以上の考えにもとづく本発明の一実施例ブロック系統図である。図において⑦は操作卓、⑧は印刷機を形成する印刷制御部と印刷部、⑧は用紙送り用モータ、⑨は本発明の特徴とする発券制御部であって、このうち⑧は投票金額設定レジスタ、⑨は上限金額設定レジスタ、⑩は計算部、⑪は計算結果収納レジスタ、⑫は券面金額設定レ

ジスタであって、これらにより操作卓⑦に打込まれた投票金額に相当する要求信号を用いて、次に説明する要領により発券を行う。

操作卓⑦に打込まれた投票金額は、先づ投票金額設定レジスタ⑩に格納され、演算部⑫はその内容から上限金額設定レジスタ⑨に予め格納されている内容を減算して、その結果を計算結果収納レジスタ⑪に格納する。そしてその内容が“0”より大であれば収容内容を投票金額設定レジスタ⑩に移し、上限金額設定レジスタ⑨の内容を券面金額設定レジスタ⑫に移す。印刷制御部⑧は券面金額設定レジスタ⑫の内容を参照して、印刷部⑧および用紙送り用モータ⑨を制御して投票券の印刷を行う。そして印刷終了後印刷制御部⑧は演算部⑫に演算操作の再開命令を送出して、前の減算分だけ減じた投票金額設定レジスタ⑩の金額の内容から、上限金額設定レジスタ⑨の内容を再び減じて、その結果を計算結果収納レジスタ⑪に格納する。そしてその内容が再び“0”より大であった場合には、前記した動作を繰返して上限金額を券面

金額とする投票券の印刷を再び行う。しかし減算結果収納レジスタ⑪の内容が“0”または負となったときには、これが券面金額設定レジスタ⑫に移されると共に、その内容を参照して制御部⑧は用紙送り用モータ⑨および印刷部⑧を制御して券面金額が上限金額以下の端数金額の投票券を上限金額で印刷された投票券に続いて印刷して1回の発券動作を完了する。なお投票金額が上限金額または上限金額以下のときには、1回の減算操作により減算結果収納レジスタ⑪の内容が“0”または負となるため、投票金額設定レジスタ⑩の内容を移された券面金額設定レジスタ⑫の内容を参照して従来の方式と同様に一枚の投票券の印刷を行って発券処理を完了する。

以上の説明から明らかなように、本発明によれば投票金額が上限金額を上回る場合にも、1回の発券操作で過剰かつ操作誤りを生ずることなく発券できるもので、その実用的効果には著しいものがある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の投票券発売機の一例を示すブロック系統図、第2図は本発明による発売投票券の例を示す斜視図、第3図は本発明の一実施例を示すブロック系統図である。

(7)・・・操作部、(8)・・・印刷制御部、

(9)・・・印刷部、(10)・・・用紙送り用モータ、

C・・・券券制御部、(11)・・・投票金額設定レジスタ、

(12)・・・上限金額設定レジスタ、

(13)・・・演算部(減算)、

(14)・・・減算結果収納レジスタ、

(15)・・・券面金額設定レジスタ、

A_1, A_2, A_3 ・・・上限金額投票券、

B・・・縮款金額投票券。

特許出願人 新電元工業株式会社

代理人 井原士 大 塚 学
外 1 名

